

朝永振一郎記念 第3回「科学の芽」賞の実施について

1. 趣旨

筑波大学では、本学の前身の東京教育大学の学長を務めるなど、本学にゆかりのあるノーベル物理学賞受賞者の朝永振一郎博士の功績を称え、それを後続の若い世代に伝えていくために、小・中・高校生を対象に自然や科学への関心と芽を育てることを目的としたコンクールを行い「科学の芽」賞を授与します。

2. 「科学の芽」賞の継続実施の経緯及び応募状況

平成18年度の朝永振一郎博士生誕100年記念事業の青少年プログラムの一環として実施した「科学の芽」賞には、初めての試みにもかかわらず、当初の予想を上回る全国24都府県から645件、延べ792名の応募がありました。また、受賞者等からは、来年度以降の継続を要望する声が多くあり、さらに後援の新聞社をはじめ多数のマスコミから広く反響があったことから、この「科学の芽」賞の実施を通じて、青少年の学力低下や理科離れなどが叫ばれる中、我が国の人材育成面において、本学が一定の貢献ができると考えられることから、平成19年度以降も継続して実施することにしました。

なお、平成19年度に実施した第2回「科学の芽」賞には、全国27都道府県及び海外4カ国（日本人学校）から846件、延べ921名の応募者があり、第1回目と比較して201件の増、延べ人数129名の増となりました。

3. 第3回「科学の芽」賞の実施概要

(1)主催

筑波大学

(2)後援(申請中のものを含む。)

毎日新聞社、時事通信社、日本教育新聞社、日本物理学会、日本物理教育学会、日本科学教育学会、日本理科教育学会、日本地質学会、日本生物教育学会

(3)応募資格

全国の小学校3学年～中学校・高等学校（高等専門学校3年次までを含む）、中等教育学校、特別支援学校の個人もしくは団体

「小学生部門」、「中学生部門」、「高校生部門」に分けて公募します。

(4)募集作品

ふしぎだと思ふこと
これが科学の芽です
よく観察してたしかめ
そして考えること
これが科学の莖です
そうして最後になぞがとける
これが科学の花です

(朝永振一郎)

この言葉のように、子どもたちが自然現象の不思議を発見し、観察・実験して考えたことをまとめたもの。完成された作品に限らず、子どもらしい素直な疑問・発見があるものが望ましい。

応募作品は、レポート用紙A4判10枚以内とします。

(※朝永先生の言葉は、京都市青少年科学センター所蔵の色紙に書かれたもの。)

(5)応募期間

平成20年8月20日(水)～9月30日(火) [消印有効]

応募方法等の詳細は、筑波大学ホームページの「社会貢献・生涯学習」を参照ください。

筑波大学ホームページ <http://www.tsukuba.ac.jp/>

(6)送付先

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1

筑波大学附属学校教育局 「科学の芽」賞実行委員会 宛

(注) 応募作品は原則として返却しません。

(7)審査方法・審査結果発表

筑波大学教員及び筑波大学附属学校教員が審査・選考を行います。

審査結果発表 平成20年11月下旬

筑波大学ホームページに掲載するとともに、受賞者本人に通知します。

なお、受賞作品は公開します。

(8)賞・記念品

受賞者には学長から賞状と記念品を贈呈します。(その他、奨励賞を予定。)

また、応募者全員に記念品を贈ります。

(9)表彰式・発表会

平成20年12月20日(土) 筑波大学大学会館 (茨城県つくば市)

(10)問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1

筑波大学附属学校教育局 学校支援課

電話 03-3942-6804

E-mail kagakunome@sec.tsukuba.ac.jp